

平成 8 年度 常緑果樹関係

除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 8 年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 9 年 2 月 4 日(火)にクーポール会館(静岡市)において開催された。

この検討会には、試験場関係者 42 名、委託関係者 48 名ほか、計 94 名の参集を得て、除草剤 11 薬剤(82 名)、生育調節剤 8 薬剤(32 名)、普

及適用性除草剤 5 薬剤(44 名)、同生育調節剤 1 薬剤(1 名)について試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成 8 年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定結果一覧

A. 除 草 剤

薬剤名・剤型 (委託者名)	有効成分および含有率(%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の 別	試験担当場所名 <>は中間または実施中 (数)	試験設計〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
1. グリホサート液剤 (ラウンドアップ)	グリホサートイソプロピルアミン塩………41%	カンキツ	<7 年度> 適用性 継 続	翌春調査; <静岡柑試>, 和歌山果園試, 山口大島柑試, <大分柑試>. (4)	〔スギナ; 草種の拡大〕 (翌春の再生防止) 春期および夏期, 生育旺盛時(草丈 20cm 以下) ; 100ml<2.5 l>, 140ml<3.5 l>, 200ml<2.5, 5.0 l> ; 専用ノズル使用 ; 茎葉処理. 対: パスタ液剤 100 ml<10 l>.	実・継	実)〔スギナ〕 ・春～夏期(スギナ生育期). ・200ml/a<2.5～5 l/a>.(専用ノズル使用). ・茎葉処理. 継)・地下茎に対する効果の確認.
(日本モンサント)			適用性 継 続	静岡柑試, 山口大島柑試, 大分柑試. (3)	〔スギナ; 草種の拡大〕 (根絶効果と連年施用) 春期および夏秋期 ; 200ml<2.5, 5.0 l> ; 平成 7 年度春期 200 ml/5.0 l 区に本年度 春期 200ml/5.0 l を 連用(専用ノズル使用) ; 茎葉処理. 対: パスタ液剤 100 ml<10 l>.		

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当場所名 <>は中間または実 施中(数)	試験設計〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
2. DKH-628 フロアブル剤	DPX-R64(未 公開)……11% 既知化合物 ……………28%	カンキ ツ	適用性 新 規	静岡柑試, 和歌山果園 試, 愛媛果 試南予, 長 崎果試, 熊 本農研果研, 鹿児島果試, 福岡農総試 園研. (7)	〔雑草全般〕 早春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) ; 40, 50, 60ml <10 l>; 茎葉処理. 対: タッチダウン液剤 50ml <10l>.	継	継)・成分未公開. ・効果, 薬害の確認.
〔デュボン〕			薬 害 新 規	広島農技果 研柑橘, 愛 媛果試南予. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 120 → 120ml, ②春期または夏期 300ml <10l> ; 土壌処理. ③春期または夏期 60ml <10l> ; 茎葉処理.		
3. MON-93A 液剤	グリホサートア ンモニウム塩 ……………33%	カンキ ツ	薬 害 新 規	広島農技果 研柑橘, 宮 崎総農試. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 200 → 200ml, ②春期または夏期 500ml <10l> ; 土壌処理. ③春期または夏期 25ml <10l> ; 茎葉処理.	実・継	(平成6年度どおり) 実)〔雑草全般(スギナ を除く)〕 ・春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・25~50ml/a <2.5 ~5(専用ノズル使 用), 10l/a>. ・茎葉処理. 継)・効果の確認.
〔日本モンサ ント〕							
4. MON-96A 液剤	グリホサートア ンモニウム塩 ……………41%	カンキ ツ	適用性 新 規	果樹試カン キツ部(興 津), 静岡 柑試, 愛知 農総試蒲郡, 三重農技紀 南, 兵庫淡 路農技, 広 島農技果研 常緑, 山口 大島柑試, 愛媛果試, 大分柑試, 宮崎総農試. (10)	〔一年生雑草〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) ; 25, 50ml <2.5, 5l>(専用ノズル使 用); 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 25ml <2.5l>.	継	継)・効果, 薬害の確認.
(つづく)							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継別の	試験担当場所 ＜＞は中間または実施中	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量＜水量 l＞／a；処理方法等	今回判定	内 容
4. MON-96A 液剤 (つづき)			適用性 新 規	果樹試カン キツ部(興 津)，静岡 柑試，愛知 農総試蒲郡， 兵庫淡路農 技，広島農 技果研常緑， 山口大島柑 試，大分柑 試，宮崎総 農試。 (8)	〔多年生雑草およびスギ ナ〕 春期および夏期， 雑草生育期(草丈30cm 以下) ； 50，100ml / < 2.5， 5 l >，スギナ対象 150ml / < 5 l > (専用 ノズル使用) ； 茎葉処理。 対：ラウンドアップ液 剤 50ml / < 2.5 l >。		
(日本モンサ ント)			薬 害 新 規	果樹試カン キツ部(興 津)，広島 農技果研柑 橘。 (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 400 → 400ml / ， ②春期または夏期 1,000ml / < 10 l > ； 土壌処理。 ③春期または夏期 25ml / < 10 l > ； 茎葉処理。		
5. NH-501 フロアブル剤 (サンダーボ ルト)	ET-751 ………0.19% グリホサートト リメシウム塩 ………28.5%	カンキ ツ	適用性 継 続	三重農技紀 南，大阪農 技，山口大 島柑試，愛 媛果試，鹿 児島果試。 (5)	〔一年生雑草および小型 多年生雑草〕 春期および夏期， 雑草生育期(草丈30cm 以下) ； 40，50，60ml / < 10 l >； 茎葉処理。 対：タッチダウン液剤 40ml / < 10 l >。	実	実)〔雑草全般〕 ・春～夏期，雑草生育 期(草丈30cm以下)。 ・40～60ml / < 10 l / a >。 ・茎葉処理。
(日本農薬，ゼ ネカ)							
6. PR-084 液剤 (オルゼット液 剤)	ジクワット ………1.9% グリホサートト リメシウム塩 ………32%	カンキ ツ	適用性 継 続	広島農技果 研常緑，高 知農技果試， 福岡農総試 園研。 (3)	〔雑草全般〕 春期および夏期， 雑草生育期(草丈30cm 以下) ； 25，50，75ml / < 10 l > (25ml / は一年生 雑草対象) ； 茎葉処理。 対：タッチダウン液剤 40ml / < 10 l >。	実	実)〔雑草全般〕 ・春～夏期，雑草生育 期(草丈30cm以下)。 ・25～75ml / a < 2.5 l / a (専用ノズル 使用)，10 l / a >。 (但し，25ml / a は一年生雑草対象)。 ・茎葉処理。
(つづく)							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の 別	試験担当場所名 < > は中間または実施中	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今回判定	内 容
6. PR-084 液剤 (つづき) 〔オルゼット協議会；ゼネカ〕			適用性 継 続	静岡柑試伊豆，和歌山果園試，広島農技果研常緑，香川農試府中，高知農技果試，福岡農総試園研，長崎果試，熊本農研天草。 (8)	〔雑草全般；散布水量〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm以下） ； 25, 50, 75ml < 2.5 l>（専用ノズル使用）（25ml は一年生雑草対象） ； 茎葉処理。 対：オルゼット液剤 50ml < 10 l>。		
7. S-878 顆粒水和剤 〔住友化学工業〕	グリホシネート12.0% S-4821.2%	カンキツ	適用性 新 規	大阪農技，広島農技果研柑橘，愛媛果試，長崎果試，大分柑試。 (5)	〔雑草全般；速効性〕 春期，雑草生育期（草丈30cm以下） ； 30, 50, 100 g < 10, 20 l> ； 茎葉処理。 対：ブリグロックL液剤 100ml < 10 l>， バスタ液剤 50ml < 10 l>。	継	継）・効果，薬害の確認。
8. S-482 顆粒水和剤 〔住友化学工業〕	S-4821.2%	カンキツ	薬 害 新 規	神奈川農総研根府川，広島農技果研柑橘。 (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 200 → 200 g， ②春期または夏期 500 g < 10 l> ； 土壌処理。 ③春期または夏期 50 g < 10 l> ； 茎葉処理。	—	—
9. SC-224 液剤 (タッチダウン) 〔タッチダウン協議会；ゼネカ〕	グリホサートトリメシウム塩38%	ビワ	適用性 継 続	千葉暖地園試，長崎果試，鹿児島果試。 (3)	〔雑草全般；散布水量〕 春期および夏期， 雑草生育期（草丈30cm以下） ； 20ml < 2.5, 5.0 l>， 40ml < 2.5 l>， 60ml < 2.5, 5.0 l> （20ml は一年生雑草対象）（専用ノズル使用） ； 茎葉処理。 対：タッチダウン液剤 40ml < 10 l>。	実・継	実）〔雑草全般（スギナを除く）〕 ・春～夏期，雑草生育期（草丈30cm以下）。 ・20～60ml/a < 2.5～5 l/a（専用ノズル使用）， 10 l/a>（但し， 20ml/a は一年生雑草対象）。 ・茎葉処理。 継）・散布水量の確認。

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場 所名 < > は中 間または実 施中 (効)	試験設計 (対象雑草; ねらい) 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
10. WOC-01 液剤 (三共グリホサ ート)	グリホサートイ ソプロピルアミ ン塩……………41%	カンキ ツ	適用性 継 続	神奈川農総 研根府川, 三重農技紀 南, 香川農 試府中, 佐 賀果試, 宮 崎総農試. (5)	〔一年生雑草〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) ; 25, 50ml < 2.5, 5, 10 l > (2.5, 5 l 散布は専用ノズル使用) ; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 25ml < 2.5 l >.	実・ 継	実) 〔雑草全般(スギナ を除く)〕 ・春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 25～50ml/a, 多年生雑草対象 50～100ml/a < 5 l/a (専用ノズ ル及び通常ノズル), 10 l/a >. ・茎葉処理. 継) 散布水量について.
			適用性 継 続	愛知農総試 蒲郡, 三重 農技紀南, 兵庫淡路農 技, 熊本農 研天草, 大 分柑試. (5)	〔多年生雑草(スギナを 除く)〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) ; 50, 100ml < 2.5, 5, 10 l > (2.5, 5 l 散布は専用ノズル使用) ; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 50ml < 2.5 l >.		
(三 共)							
11. WOC-02 液剤	グリホサートナ トリウム塩 ……………11.5% エンドタール二 ナトリウム塩 ……………8.5%	カンキ ツ	作用性 新 規	果樹試カン キツ部(口 之津). (1)	〔雑草全般(一年生雑草 主体)〕 雑草生育初期(草丈10 ～15cm程度), 雑草生育期(草丈30cm 程度) ; 100, 150, 200ml < 10 l > ; 茎葉処理. 対: プリグロックスL 液剤 100ml < 10 l >.	継	継) 効果, 薬害の確認.
			適用性 新 規	愛知農総試 蒲郡, 大阪 農技, 香川 農試府中, 佐賀果試, 宮崎総農試. (5)	〔雑草全般(一年生雑草 主体)〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm 以下) ; 100, 150, 200ml < 10 l > ; 茎葉処理. 対: プリグロックスL 液剤 100 ml < 10 l >.		
(つづく)							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場 所名 <は中 間または実 施中 (数)	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
11. WOC-02 液剤 (つづき) 〔三 共〕			薬 害 新 規	愛媛県試南 予，宮崎総 農試。 (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期 400 → 400 ml， ②春期または夏期 1,000ml <10 l> ； 土壌処理。 ③春期または夏期 100 ml <10 l> ； 茎葉処理。		

B. 生育調節剤

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場 所名 <は中 間または実 施中 (数)	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 l>/a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. ジベレリン 水溶剤 (ジベレリン協 和粉末) (ジベレリン明 治) (ジベレリンT M顆粒) 〔日本ジベレリ ン研究会；協 和醸酵工業〕	ジベレリンA ₃ ……… 3.1%	ボンカ ン	適用性 新 規	静岡柑試， 愛媛県試南 予，鹿児島 果試。 (3)	〔水腐れ防止効果〕 11月上旬， 樹全体7～8分着色期 ； 1, 5, 10ppm <均一 に付着する様> ； 枝別散布。	継	継)・効果の確認。
		不知火	適用性 新 規	静岡柑試， 広島農技果 研柑橘，愛 媛県試，愛 媛県試南予， 熊本農研果 研，熊本農 研天草。 (6)	〔着果促進効果〕 満開後7～10日 ； 25, 50, 100 ppm ； 花(果)房散布。	継	継)・効果の確認。
		サガマ ンダリ ン	自 主	佐賀果試 平成 2， 3，4 年 度	〔着果促進効果〕 一任。	実・ 継	実)〔落果防止〕 ・満開期～満開10日前 後の幼果期に1～2 回散布。 ・25～50ppm。 ・幼果を中心に滴り落 ちる程度に散布。 継)・効果の確認。

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継別の	試験担当場所名 <>は中間または実施中(数)	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量<水量 / > a；処理方法等	今回判定	内 容
2. ジベレリン 水溶剤 (ジベレリン協和粉末) (ジベレリン明治) (ジベレリンT M顆粒) 〔日本ジベレリン研究会；協和醗酵工業〕 + KT-30S 液剤 (フルメット液剤) (協和醗酵工業)	ジベレリンA ₈ ……………3.1% ホルクロルフエニユロン ……………0.1%	ビワ (3倍体)	適用性 継続	千葉暖地園試。 (1)	〔着果安定・果実肥大効果〕 開花前2～10日(花房浸漬)および開花後28～35日(果房浸漬)；ジベレリン200 ppm + ホルクロルフエニユロン20 ppm ；2回散布。	実	実)〔着果安定および果実肥大〕 ・第1回；花房浸漬。 満開7日前～満開時。 ジベレリン200 ppm +ホルクロルフエニユロン20 ppm。 ・第2回；果房浸漬。 第1回処理後35～60日。 ジベレリン200 ppm +ホルクロルフエニユロン20 ppm。
3. BAL-1 液剤 〔バル企画〕	2種の既知化合物(現地混用)	カンキツ	作用性 新規	静岡柑試伊豆。 (1)	〔着色向上と果実肥大効果〕 別途協議。	—	—
4. CS-2H 水溶剤	硫酸カルシウム 二水和物…57% 塩化カルシウム ……………27% その他……………16%	普通ウンシュウ	適用性 継続	静岡柑試、和歌山果園試、広島農技研常緑、山口大島柑試、愛媛果試南予、福岡農総試園研、佐賀果試、長崎果試、熊本農研果研。 (9)	〔浮皮防止・予措；処理時期〕 ①無処理、 ②8/下→9/下 300倍液2回、 ③8/下→9/下→10/中 300倍液3回、 ④クレフノン水和剤 着色開始期から100倍液2回 〈果実から滴り落ちる程度〉 ；枝別処理 (着色の早い品種での秋期処理は、着色開始期までに終了する)。	実・継	実)〔浮皮防止〕 ・夏秋期、20～30日間 隔の3回散布。 ・300倍液(果実から 滴り落ちる程度)。 ・立木全面散布。 継)・処理回数等の確認。
(つづく)		ボンカン、不知火	<7年 度> 作用性 新規	果樹試カンキツ部(口之津)、熊本農研果研。 (2)	〔果皮障害の予措；コハ ン症、水腐れ、焼け等〕 詳細は、一任 ；果実生育旺盛時 ；300倍液3～5回散布 ；〈果実から滴り落ちる 程度〉 ；枝別処理。	—	—

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 続 別	試験担当 場所名 < >は中 間または実 施中 (数)	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量＜水量 I＞／a；処理方法等	今 回 判 定	内 容
4. CS-2H 水溶剤 (つづき) 〔白石カルシウ ム〕			作用性 継 続	<果樹試カ ンキツ部(口 之津)>， <熊本農研 果研>. (2)			
5. E-3 水和剤 〔SKK栽培工 学研究会〕	サイクロデキス トリン……8% 複合多糖類 ………70% 甘草………10% ステビア…8% 他	ウンシ ユウミ カン	作用性 新 規	神奈川農総 研根府川， 兵庫淡路農 技. (2)	〔果実の増糖・減酸・着 色促進効果〕 7月上旬 ；水20 lに E-3 45 g 砂糖 300 g 第一リン酸石灰 5 g ホウ素 25 g <60～80 l> ；立木全面散布.	—	—
6. GR-58 乳剤 (マディク)	MCPB…20%	清 見	<7年 度> 作用性 継 続	<果樹試カ ンキツ部(口 之津)>. (1)	〔低温条件下での落果防 止〕 (低温条件については 一任).	—	—
		ネー ブル	<6年 度→7 年度> 適用性 継 続	<熊本農研 果研>. (1)	〔越冬果実の落果防止〕 11月中旬と12月中旬の 2回散布； ①無処理， ②3,000倍→3,000倍， ③2,000倍→2,000倍 ；立木全面散布 (袋掛けする場合は最 終散布後).	実 ・ 継	(平成6年度どおり) (ネーブル：冬の落果 防止)
		セミ ノ ール	<7年 度> 適用性 継 続	和歌山果園 試. (1)	〔冬期(越冬果実)の落 果防試〕 処理時期は，一任； ①無処理， ②3,000倍→3,000倍， ③2,000倍→2,000倍 ；<水量一任> ；立木全面散布.	継	(前年どおり) 継)・処理方法の検討.
〔アグロ カネ ショウ〕							
7. RIC-1 液剤 (つづく)	海藻ホモジネー ト	ウンシ ユウミ カン	<7年 度> 基 礎 継 続	<果樹試カ ンキツ部 (興津)>. (1)	〔樹勢強化・品質向上〕 別途協議.	—	—

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当場所名 <中間または実 施中>は中 間または実 施中	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
7. RIC-1 液剤 (つづき)		不知火	作用性 継 続	果樹試カン キン部(口 之津). (1)	〔苗木の根および地上部 の発育促進効果〕 3~4月 ; 1, 2, 3, 5ml/樹 <1~3l/樹> ; 灌水処理 ; ルートポット使用.	保 留	—
			適用性 新 規	<静岡柑試 (中間)>, <愛媛果試 南予>, <愛媛果試 岩城>, <熊本農研 果研>. (4)	〔苗木の根および地上部 の発育促進効果〕 3~4月 ; 1, 2, 3, 5ml/樹 <1~3l/樹> ; 灌水処理 ; ルートポットか不織 布ポット(翌年への影 響も調査).		
		ウンシ ュウミ カン	作用性 継 続	果樹試カン キツ部(興 津), 鹿児 島大学, 静 岡柑試. (3)	〔樹勢強化・品質向上〕 別途協議.	—	—
		伊予柑	適用性 継 続	愛媛果試南 予, 愛媛果 試岩城, <愛媛果試 岩城(2)>. (4)	〔樹勢強化・品質向上〕 (処理方法の検討) 詳細は, 申請書を参照 (連年処理希望).	継	継)・効果の確認.
		不知火	作用性 新 規	果樹試カン キツ部(口 之津). (1)	〔樹勢強化・品質向上〕 別途協議(5年連用試 験を希望).	—	—
8. TMP-951 液剤 〔トーマン〕	Amino-eth oxy-vinylgl ycine ... 15%	ウンシ ュウミ カン	<7年 度> 作用性 新 規	<大阪府立 大学>. (1)	〔浮皮防止〕 別途協議.	継	(前回どおり) 継)・効果の確認. ・薬害について.